

単層ビニル床シート 標準施工方法

対象商品：メガリット・グラニット・オデオン PUR・メディントーン

主な特徴

- 重歩行用の単層ビニル床シートです。継ぎ目箇所の裁断は重ね切りではなく、落とし込みの方法で施工します。

施工時の取扱い

- 施工前に必ず 24 時間以上現場で仮敷きを行い、現場環境に馴染ませてから施工してください。
- 特に冬期の低温時は巻き癖が非常に取りにくくなります。 施工現場を暖め仮敷きをしてください。

継ぎ目処理

- 落とし込みの方法で施工します。継ぎ目は専用の溶接棒かパーフェクトシーム シーム液 (BB-382) で溶接します。

保管

- 両端が痛まないよう、置き癖がつかないように注意します。
- 俵積み保管は材料変形の原因となりますのでお止めください。可能な限り縦置き保管をおすすめします。

施工環境

- 材料および接着剤に適した施工環境の維持に努めてください。

接着剤

下地の種類や施工する場所、および施工する時期によって使用する接着剤を選定ください。

- 一般工法
ベンリダイン E-1 (BB-514)
※巻き癖等で浮きが発生しやすい場合には、両面コンタクト接着しますと大変効果的です。
- 耐湿工法
ベンリダイン WG (BB-601)、WPX (BB-479)、EP-300 (BB-584)

耐動荷重性能が求められる場合の施工上の注意事項

施工の際は、下地が平滑で十分に乾燥した状態であり、十分な強度があることを確認してください。必要に応じて、荷重用 EP プライマー (BB-600) を塗布してください。一般的な下地水分レベルと施工方法の目安の組み合わせは下表の通りですが、特に日常的な重量物の移動・搬送などによる負荷が想定される場所に関しては、下地水分レベルがグレード I の場合でもエポキシ樹脂系・ウレタン樹脂系接着剤を適切な塗布量で使用し、十分に圧着してください（より接着強度に優れる EP-300 をおすすめします）。

水分計*			水分計以外での確認方法		施工方法の 目安
グレード	選択 D.MODE	従来の水分指標	ポリエチレンフィルム	バーナー	
I	440 未満	8%以下	24 時間後変化なし	下地表面に変化なし	一般工法
II a	440 以上 620 未満	8%~10%	24 時間後黒ずみ（輪郭不明瞭）	下地表面が黒ずむ	耐湿工法
II b	620 以上	10%以上	24 時間後に変色結露が見られる	下地表面に水滴が浮く	施工不可

※使用水分計：株式会社ケット科学研究所 高周波静電容量式水分計「HI-520-2」D.MODE 選択による